

## 第 19 期 事業報告

(2023 年 11 月 1 日～2024 年 10 月 31 日)

### 1. 会員加入状況報告

2024 年 12 月 13 日現在の会員加入状況は表 1 の通りである。

表 1 : 会員加盟状況

区分	第 18 期会員数	第 19 期会員数
正会員 (個人)	14	13
正会員 (団体)	5	5
賛助会員(個人)	1	1
賛助会員(団体)	7	5

#### ■ 正会員(個人)の変動

退会者 3 名があった。TIES シンポジウム 2024 階催時、2 名の入会者があった。

#### ■ 賛助会員(団体)の変動

退会 2 団体があった。

#### ■ 会員の確保

会員は減少傾向にあるため、引き続き、継続的な会員の確保に努めることとする。

### 2. 事業報告

#### 1 事業収益の概要

第 19 期の事業収益は、収入 113,583 千円(雑収入他 2,182 千円含む)、支出 104,805 千円、収支 8,781 千円となり、いずれの金額も期初の事業計画を上回り、第 18 期に対しては収入増を達成することができ、収支均衡を実現した。

計画を上回った要因は、第 18 期に落札した一般競争入札案件の 2 件、大阪教育大学「バッジウォレット・バッジキャビネットシステム 一式」23,104 千円、愛知教育大学「教材コンテンツ作成支援」6,105 千円が第 19 期の収入に計上されたことが影響している。(表 2)

表 2：事業収支（千円）

区分	第 18 期実績	第 19 期事業計画	第 19 期決算	計画との差異
収入	86,927	93,207	113,583	20,376
支出	87,291	92,971	104,805	11,834
収支	364	236	8,778	85,42

## 基本方針

### ■ 組織体制の強化

前期に引き続き、プロダクトの品質の向上を確保するため、外部への委託を活用しながら開発を進めた。

### ■ 事業活動

研究開発：引き続き、主任研究員が大阪教育大学へクロスアポイントメント契約により、2割の-effortで勤務した。

製品開発：オープンソースソフトウェアを基本とし、所定の開発投資を実施した。

受託業務：受託業務の規模は、前期並みが確保できた。

### ■ 競争入札

第 18 期は、大型の入札案件を落札することが出来たが、今期は、入札案件は発生していない。

### ■ 競争的資金

競争的資金は、取得できたものは無い。

## 3. 事業報告

### 1. インターネットを活用した教育機関の教育連携を実現する支援

本事業では、主として教育機関が運用する e ラーニングシステムの運用保守の受託業務を実施した。主な実績は以下の通りである。

#### ■ 帝塚山大学

前期と同様に、学生向け Moodle (TALES) の運用保守を行い、事業規模は例年程度を維持することができた。

授業改善アンケートのデータ解析支援を実施する見込みである。

#### ■ 大阪教育大学

みらい教育共創館に移転したことにより、大阪教育大学および入居している事業者から各種の協業を呼びかけられており、どのようなサービスが展開するかを検討している。

大阪教育大学の実施するオンライン教育研修は、対象市町村の広がりを見せている。

#### ■ 国立情報学研究所

国立情報学研究所学認 LMS のコンテンツ基盤として、CHiBi-CHiLO を提供した。

前期に引き続き、光・量子飛躍フラッグシッププログラムについて、東京大学、九州大学、慶応大学の学生に対するオンライン講義配信の支援業務を実施した。

#### ■ その他の教育機関

熊本大学、大阪大学などで CHiBi-CHiLO の導入支援を実施した。

### 2.e ラーニングのためのコンテンツ・ソフトウェアの制作と流通を促進する事業

---

本事業では、主として教育機関が提供するオンライン教育のコンテンツ制作の受託業務を実施した。

#### ■ 大阪教育大学へのサービス

大阪教育大学の実施するオンライン教育研修の教材の制作支援を行った。

### 3.e ラーニングを活用した教育手法の調査研究事業

---

本事業では、主としてオンライン教育に関するシステムの研究開発を他機関から受注することで、実施した。主な実績は以下の通りである。

#### ■ CHiBi-CHiLO

国立情報学研究所、大阪大学、熊本大学からの引き続き開発業務を受託し、CHiBi-CHiLO の安定稼働のための開発を実施した。

#### ■ CHiLO-Speech

国立情報学研究所の委託により、CHiBi-CHiLO と連携し、ナレーション原稿付きの PowerPoint から音声合成ビデオ教材を作成する Web アプリケーション、「音声合成ビデオ教材作成システム」を開発し、CHiLO-Speech として、オープンソースソフトウェアで公開した。

#### ■ 研究開発

大阪教育大学とのクロスアポイントメント契約により、本法人の主任研究員である堀 真寿美が、特任教授として勤務している。エフォート割合は、本法人 8 割、大阪教育大学 2 割としている。

### 4.連携、助言または援助の活動事業

---

#### ■ 大阪教育大学

大阪教育大学との産学協同事業推進のため、クロスアポイント契約により、附置研究所主任研究員1名を特任教授として派遣した。大阪教育大学のエフォート率は 2 割とし、任期は 1 年間で、継続している。

#### ■ シンポジウム

現代社会における学びの在り方に関心を持つ個人の方々、企業、学術機関、政府機関、非営利団体など、あらゆる組織の方を対象としたシンポジウムを以下の要領で開催した。

テーマ: 学び続ける未来のために—リスクリングの危機を越えて

日 程: 2024 年 10 月 19 日 [土] 13:30-18:00

会 場: 大阪教育大学みらい教育共創館, 及び Zoom(ウェビナー)

主 催: NPO 法人コンソーシアム TIES

共 催: 大阪教育大学

後 援: 文部科学省, 大学 e ラーニング協議会, CAUA, 日本オープンオンライン教育推進協議会 JMOOC, 一般社団法人日本 1EdTech 協会, 一般社団法人大学 ICT 推進協議会 (AXIES)

#### ■ 学会事務局

大学 e ラーニング協議会 (UeLA) の事務局業務及び同協議会のオンラインシンポジウムのサポートを実施している。

#### ■ 論文等の投稿・発表

第 19 期は、以下の論文誌等への投稿と発表を行った。

- ・ Masumi Hori, Seishi Ono, Kensuke Miyashita. Demonstration Experiment of Decentralized Learning Within Traditional Decentralized Education. Proceedings of the 16th International Conference on Computer Supported Education. 2024. CSEDU (1). 216-226

- 堀真寿美. "ぺた語義: ラーニングエコシステムとオープンバッジの夢-教育のサイロ化に挑む教育のオープン化." 情報処理 64.10 (2023): 532-536。
- 堀真寿美. "IT と教育." 情報処理学会論文誌デジタルプラクティス (TDP) 4.2 (2023): i-iii.
- 堀真寿美. "講演 オープンバッジと学びの未来." View point: CAUA 会誌 23 (2023): 15-18.
- 石田秀樹, 井上雅裕, 堀真寿美, & 野村典文. (2023). パネルディスカッション 学びの多様化と質保証 View point: CAUA 会誌, 23(2023), 23-27.

以上